

信用保証トピックス (平成21年3月) ②

保証債務残高が続伸

～ 金融機関群別残高構成比に変化が生じる(平成16年4月比較) ～

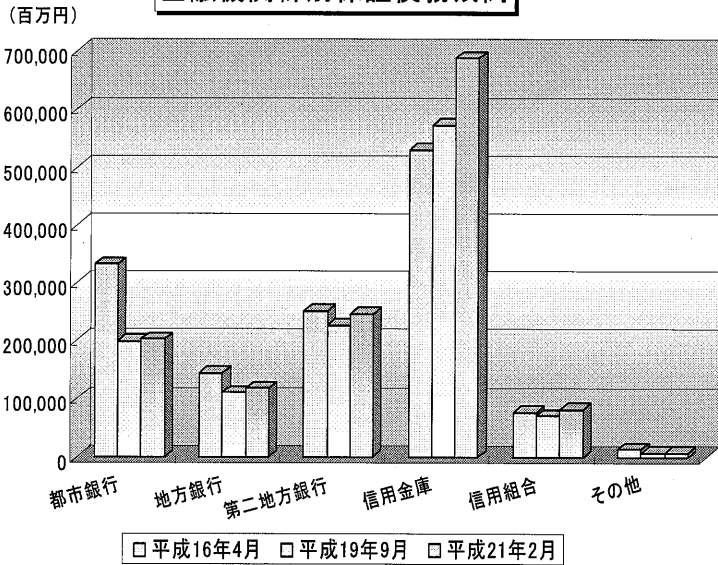
平成21年2月の保証承諾金額は72,818百万円(前年同月比181.9%)と、原材料価格高騰対応等緊急保証制度(以下「緊急保証制度」という。)の取扱開始に伴い、4ヵ月連続で前年同月を大幅に上回り、保証債務残高は1,346,449百万円(同113.5%)と伸張しました。これを保証債務残高がほぼ同水準である平成16年4月(債務残高1,351,206百万円)及び責任共有制度導入直前の平成19年9月の保証債務残高と比べた場合、金融機関群別の保証債務残高構成比に大きな変化が生じています。

金融機関群別保証債務残高比較

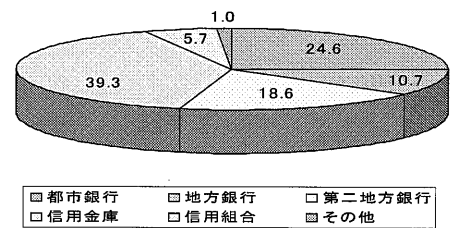
(単位:百万円、%)

	都市銀行		地方銀行		第二地方銀行		信用金庫		信用組合		その他		合計	
	債務残高	構成比	債務残高	構成比	債務残高	構成比	債務残高	構成比	債務残高	構成比	債務残高	構成比	債務残高	構成比
平成16年4月	332,488	24.6	144,779	10.7	251,914	18.6	530,627	39.3	77,430	5.7	13,968	1.0	1,351,206	100.0
平成21年2月	202,809	15.1	118,661	8.8	247,126	18.4	688,343	51.1	82,646	6.1	6,863	0.5	1,346,449	100.0
差	▲129,679	▲9.5	▲26,118	▲1.9	▲4,788	▲0.2	157,716	11.8	5,216	0.4	▲7,105	▲0.5	▲4,757	0.0
平成19年9月	199,819	16.8	110,805	9.3	226,362	19.1	572,732	48.2	71,052	6.0	6,992	0.6	1,187,761	100.0
平成21年2月	202,809	15.1	118,661	8.8	247,126	18.4	688,343	51.1	82,646	6.1	6,863	0.5	1,346,449	100.0
差	2,990	▲1.7	7,856	▲0.5	20,764	▲0.7	115,611	2.9	11,594	0.1	▲129	▲0.1	158,688	0.0

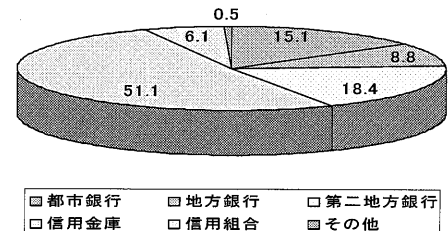
金融機関群別保証債務残高



金融機関群別保証債務残高構成比(平成16年4月)



金融機関群別保証債務残高構成比(平成21年2月)



緊急保証制度の取扱いにより総じて、保証債務残高は増加傾向にあります。現在と平成16年4月を比べると、『信用金庫群の伸張』及び『都市銀行群の減少』が顕著に表れ、現在と平成19年9月では、各金融機関群の増加幅に差が生じ、信用金庫が最も大きく、都市銀行が最も小さくなっています。当協会では、このような結果となった背景には以下のような理由があるものと見ています。

○ 信用金庫の躍進

責任共有制度の実施に影響されない、地域密着によるリレーションシップバンキングを積極的に推進した。

○ 都市銀行の停滞

スコアリング等を活用した信用保証を要しない独自商品の開発により大口融資のプロパー化を推進した。

責任共有制度の実施に伴い中小企業融資に対する金融機関リスクを厳格化し、保証利用が消極的となった。